

まちかど未来塾 だより



1月(January)

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
第1週						
	7	8	9	10	11	12
第2週		塾 スタート		親カフェふらっと 10:00~12:00		
	14	15	16	17	18	19
第3週						
	21	22	23	24	25	26
第4週						ベアプロ 親カフェ 14:00~16:00
	28	29	30	31		
第5週						

*お月謝の引き落としは14日(月)

特に受験生～インフルに気を付けて、よいお年をお過ごしください！

**2019年～猪のように目標に向かい、ただただ猪突猛進～
元気な1年になりますように！と願います**



Mirai Letter 71



「英語にフォニックス法」～半端ないって！

12月上旬に群馬大学/飯島先生の「英語って、苦手～」を克服するための工夫した手作り教材を通して「小、中学校で英語学習につまずく子どもへの指導」の講演に参加してきました。

英語に苦手意識のある生徒たちには「どうも単語が読めない、覚えられない、だから教科書なんて読めるはずもない、」といった共通点があります。ここで飯島先生はフォニックスの規則性は手助けになる！と確信し、音から入れる指導をしつこく、しつこく(手作り教材を用いて)カードゲーム(大文字/小文字のパスルや音を足したり、引いたりして単語を作るカードなど)で生徒たちにその単語の規則性を叩き込む！音と文字がつながってやがては単語が読めるような指導を小学生/中学生に導入しています。

先生は「英語にネガティブな感情を持っている生徒はコミュニケーションに対しても苦手意識がある」と、中学生で英語に対する学習意欲の低下につながるためには小学校3～4年生でいかに「音」を定着させることが大事であるか、と、

中学英語は1年生のオリエンテーションが終わりやっとな新しい環境やお友達になれた頃に教科書の読みが容赦なく始まります。「教科書が読める！」は自尊感情が保て、安心感にもつながります。

もうかれこれ16年になる「フログ英会話教室」は当初から「フォニックス法によるカードゲームでの音の導入」を楽しく生徒たちと展開してきました。この間、小学校の英語教育は高学年になると会話も増え、本当に変わったと感じています。飯島先生は「小学生で音の指導にじっくり時間をかけてあげること、定着させてあげること～これなくしては中学英語との連携は難しい！」とおっしゃっていました。この先生のコメントで「フォニックス法のフログ英会話教室」は大きく躍進～ここからは「フログ」のプチ自慢になります。、「フォニックス法が生徒たちの苦手意識を持った英語に一役買います！」～やはり「フォニックス法、半端ないって！」～16年前から地域で取り組んでたって！(T. Imou)